

2023年度 法科大学院

第4期入学試験問題

4時限

民事訴訟法・刑事訴訟法

(論文式)

試験時間合計 80分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
3. 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は手を挙げて監督に知らせてください。
4. 解答用紙には解答欄以外に記入欄がありますので、監督の指示に従ってそれぞれ正しく記入してください。
5. 解答は、必ず解答用紙の解答欄に記入してください。解答用紙の解答欄以外に記入された解答はすべて無効とします。解答用紙の裏面を使用する場合は「裏面に続く」と記載してください。
6. 解答用紙は各1枚しか配布しません。複数枚請求されてもお渡ししません。
7. 貸与した六法以外の参照は一切できません。
8. 試験問題の内容等について質問することはできません。
9. 問題冊子の余白等は適宜使用してかまいませんが、解答用紙の解答欄以外に記入された解答は無効とします。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

[民事訴訟法]

土地の所有者である賃貸人Xは、建物所有を目的とする土地の賃借人Yを被告として、賃料不払を理由に土地賃貸借契約（以下「本件契約」という。）を解除したとして、建物収去土地明渡請求訴訟を提起した。

- 1 本件契約の終了原因について、賃料不払による解除から解約申入れによる終了に変更しようと考えた場合、Xは、どのような訴訟行為をするべきかを説明しなさい。
- 2 解約申入れを理由とする建物収去土地明渡請求において、正当の事由（借地借家法6条参照）を構成する事実について、XとYのいずれが証明責任を負うかを説明しなさい。

（解答は全て解答用紙に記入すること）

[刑事訴訟法]

被害者を殺害してキャッシュカードを強取し、そのキャッシュカードでATMから現金を窃取した事件の捜査において、警察官Kは、そのATMコーナーに設置されていた防犯ビデオに写っていた人物と、被疑者との同一性を確認するため、被疑者の容ぼう・姿態（以下「容ぼう等」という。）をビデオ撮影することとした。Kは、被疑者宅近くに停車した捜査車両の中から、公道を歩いている被疑者の容ぼう等をビデオカメラで撮影した。このKの捜査の適法性について、下記語句群の語句を全部使用して論じなさい。

語句群：

被侵害法益、強制捜査、必要性、任意捜査、捜査比例の原則、意思を制圧、憲法 13 条、相当、捜査目的